

学校だより



ふれあい

真実求めん からだ鍛えん 心正さん

令和6年4月9日 NO.1

水戸市立第五中学校

令和6年度が始まりました

第1学期始業式

新年度がスタートしました。

本校校長として2年目を迎えました「春原孝政（すのはらたかまさ）」です。今年度も保護者の皆様や、地域の皆様と力を合わせ、本校生徒一人一人を伸ばしていきたいと考えておりますので、ご支援ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度は、9名の教職員が新たに赴任しました。9名の勤務形態は様々ですが、これまでの五中の伝統を大切に、生徒とともに五中の新たな1ページをつくるために使命感と情熱をもって努めてまいります。

さて、令和6年度のスタートに当たって、始業式では生徒たちに2つの話をしました。

1つ目は、「新たな出会いを大切にする」ということです。

新しい先生方との出会いを大切にすることはもちろん、それぞれが進級し、これまでの仲間とも改めて出会い直して、お互いに新しい気持ちで新年度をスタートしてほしいと話しました。

2つ目は、「3つのC（チャンス・チェンジ・チャレンジ）を意識する」ということです。

それぞれが進級するというを“よい機会”と捉えて、今までの自分を振り返り“変える、変わる”そして、新たな目標に“挑戦”してほしいと伝えました。

未来社会をたくましく生きる自立した生徒の育成を目指し、生徒一人一人の“やればできる”という気持ちを大切に、教育活動を展開してまいりたいと考えていますのでどうぞよろしくお願いいたします。

水戸市立第五中学校長 春原 孝政



年度初めの抱負発表

代表生徒の発表から

始業式で、各学年の代表生徒が発表した作文を以下に掲載します。

「2年生になって」 2年4組 安 美貴子

春休みが終わり、今日、新しい学年に進級しました。この1年、船中泊をはじめ、体育祭、花芯祭、いろいろな行事があることにワクワクしています。

実施が5年ぶりといわれている船中泊は、1か月後の5月8日に北海道へ出発する予定になっています。昨年から、この船中泊に向けて学年で「成長を感じて帰ってこよう！ 自然と歴史にふれる旅～友情はでっかいど!!～」というテーマを決めたり、北海道の風土や歴史について調べたりしてきました。



学級ごとに行うラフティングや、生キャラメル、ジャム、アイスクリーム作りなどの体験活動を通して、仲間との絆を深めたいです。

さらに充実した1学期を過ごすために、私は2つの目標を立てました。

1つ目は、英語の学習に力を入れることです。昨年、単元テストで問われた単語をなかなか思い出せず、苦戦しました。日に日に増える単語が覚えきれなくて、テスト前に焦らないよ

うにするために、自主学习ノートを1冊作り、毎日英単語を繰り返し、声に出して読んだり、書いたりしていこうと決めました。また、授業の中で、英語で伝え合う活動も積極的に取り組んでいきたいです。

2つ目は部活動です。いよいよ今月には、新入生が卓球部へ入部してきます。先輩としての自覚をもち、悔いの残る試合をしないようにしていきたいです。

昨年は、大会が近くなると緊張が続き、本番でもその緊張と不安な思いを引きずってしまい、思うような試合ができませんでした。だからこそ、日々の練習をしっかりとやり、試合前は「これだけ練習したのだから大丈夫」と思って試合に臨めるようにしていきたいと思います。

この2つのことを「有言実行」していく覚悟です。「当たり前のことを、ばかにしないで、ちゃんとできる」姿を、後輩に見せることができる先輩になれるように、常に意識をしていきたいです。

「3年生の抱負」 3年1組 須永 航太

僕は、3年生になって頑張りたいことが3つあります。

1つ目は、ラグビーです。僕はラグビーのクラブチームに所属しているのですが、ずっと目標にしてきた大会が5月にあるので、そこで全力を尽くし、勝利を収めたいと思います。そのためには、残り1か月をどれだけ有意義に使うかが大切だと思っています。

プロボクサーであるフロイド・メイウェザーの名言「お前が休んでいるとき、俺は練習している。お前らが練習しているときは当然俺も練習している」のとおり、どれだけ自分自身に厳しくなれるかが重要だと思っています。僕は大会までの残り1か月、ランメニューなどのきつい練習を自分に負けずに取り組み、悔いの残らない結果を得られるようにします。

2つ目は勉強についてです。3年生になり、いよいよ受験が近づいてきました。これから約1年間、ペンと消しゴムと共に闘っていかなければならないと思うと、とても辛い気持ちでいっぱいですが、この辛さを乗り越えることで、さらに成長できるとポジティブにとらえ、頑張っ乗り越えていきたいと思っています。

3つ目は、清掃活動です。昨年の3学期、自分なりに清掃活動を頑張ったはずなのに、自分の思っていた評価を得ることができませんでした。

そのことから、自分が頑張っているように感じていても、友人や先生方に頑張っていると認めてもらえなければ評価は変わらないものだという事に気付きました。今年こそは、周りの友人、先生方に認めてもらえるように、昨年以上に清掃活動に力を入れていきたいと思っています。

最後に、この3つの目標を達成するためには、常に危機感をもって時間を大切にしていくことが大切だと思います。残り少ない中学校生活なので、有意義に過ごしていきたいと思っています。



さすがです！五中生 ～学校にお電話がありました～

4月8日（月）始業式の朝、学校に「近隣に住む男性の方」から1本の電話が入りました。

その男性は、「善行（ぜんこう）の報告です。いやあ、五中の男子生徒2名が、先ほど善い（よい）行いをしてくれましたね、大変助かったんです。だから、先生方にもそのことをお知らせしたくて電話をかけました」とおっしゃり、次のようなお話を始めました。

その方によると、先ほど道端に倒れている老人がいたそうで、そこを通りかかった新2年生の男子2名が快く手を貸してくれて、その老人を介抱してくれたとのことでした。そして、周りの大人の方とともに、救急車の搬送まで手伝ってくれた、とのことでした。

電話をかけてきた男性は、最後に、「いやあ、五中には善い（よい）生徒さんがいますね。同じ地域の住人として、とてもうれしいですよ！」とおっしゃっていました。

善い行いをした2人の生徒をたたえたいですね。大変立派でした。さすがです！五中生。